



有限会社 森石州瓦
代表取締役
一般瓦ふき技能士・屋根瓦診断技士
森 政紹 [もりまさつぐ]

初代・祖父が唐津で瓦・屋根工事の会社をはじめ。2代目・父(和廣)が昭和の後半に現在の佐賀市に会社を移す。3代目・政紹に代表交代し7年目、小学6年生の頃、父の仕事現場を見て瓦に興味を持つ。小さい頃から父の後を継ぐ宿命だと認識して佐賀工業高校建築科を卒業。大阪の建築会社で会社員として5年間働き、帰省。それから現場の親方につきながら本格的に修行をスタートし瓦屋歴は20年を超える。その後は、人が良く人付き合いがよい父親が築いてきたものを自分が引き継がないといけない仕事に邁進する日々。好きな言葉は、「まごころ」。

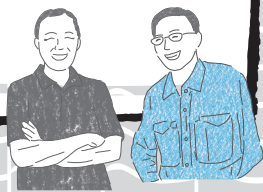


屋根の上の、力持ち

特集
瓦の歴史は1400年、そこには瓦ない愛がある

瓦の仕事の魅力は、ずっと変わらずに形にのこること

「このうちの屋根はうちがしたんだよ」父が話すのを聞くと、子どもながらに嬉しくて、またそれが自慢でした。この仕事はこうやってずっと形に残って行くんだなと思いました。

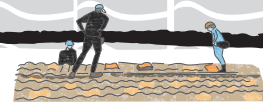


瓦が必要ない家が増えてきた 瓦の良さを見直してもらいたい

ローコストの家が増えてきてる事により、残念ながら瓦の採用率が低下しています。台風の時など「瓦が飛んだ」などの言葉をよく耳にしたり、マイナスのイメージが多くなってきているのも現状です。今は風に強い瓦が主流になってきています。ちゃんとした施工をすれば、台風にも耐えられる屋根になります。瓦は家を守るもの!お客様に安心と安全をお届けしていきたいです。

地元そして身近に 瓦屋さんがいることを知ってほしい

小学校二年生の息子が継ぎたいと言っています。そのためにも20年後も魅力ある仕事として良い形で継続させていきたいと思っています。近年、悪質な訪問販売も増えているなか、地域のなかに私たち瓦屋さんがいることを知って欲しいですね。雨漏りなどで困った時に「大和に瓦屋さんがあったよね。」と思い出して頂ける存在になればと思います。仕事をさせて頂いてお客様から「ありがとう」と言われるのが一番嬉しいですね。「信頼できるから」とお客様が紹介してくださると感謝でいっぱいになります。現在、職人さん3人、技能実習生2人で仕事をしています。もっと職人さんを増やしていくために、やりがいのある仕事、魅力ある仕事だと業界のイメージアップにも貢献していきたいです。



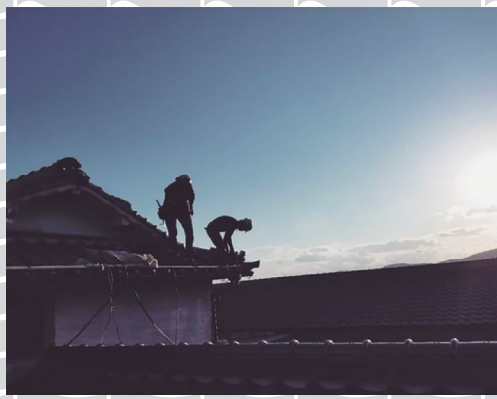
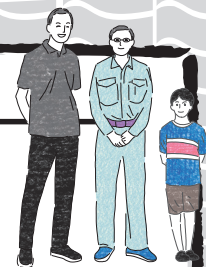
気候に左右される仕事、 天気には神経をつかう

瓦の仕事は、気候に左右されます。毎日、お天気のアプリを4つくらい起動させ注視して神経をつかっています。今の時期は、朝7時半からスタートして17時くらいまで仕事をしていますが、とにかく屋根の上は暑いですよ! (笑)雨漏りさせない施工方法は職人の技術が全てです! 瓦は素材や機能、重さなど色々な種類があるのでニーズに合わせてお客様に提案していきたいです。



人との繋がりを大切に

「人とのつながりが大切」という想いで交流会、消防団、商工会などには、積極的に参加しています。私が見知りなので克服の意味も込めて頑張っています。大和町川上峡手筒花火も地元を盛り上げる一助になればと活動しています。今後は、より一層、お客様からの「ありがとう」をたくさん頂けるように、一つ一つ進んで行きたいと思っています。



〈瓦のいいところ〉

- ・日本の風土にあっている
- ・日本の伝統が詰まっている
- ・瓦は家を守るもの
- ・値段は高いが長い目で見ると高いものではない
- ・鬼瓦は家の守り神。自分の好きな縁起の良いモチーフを使う
- ・恵比寿さん、大黒さん、シャチホコ、家紋など
- ・台風で被害があっても一枚から交換できる、メンテナンスのしやすさ



有限会社 森石州瓦
TEL.0952-62-3899
佐賀県佐賀市大和町
久池井1688-4
@morikawara1990



職人・見習い募集

イベント時などで配られる
森石州瓦ロゴ入り
オリジナルの瓦せんべい

